

山行報告書

受付NO.	176 登山地・ルート 奥穂高岳・西穂高岳縦走 白出沢より		
目的	トレーニング 岩稜を楽しむ		
メンバー	柴田 尚武 単独		
行動記録			

月 日 曜	天 候	ポイント地点・所要タイム
8月6日(土)	曇後雨	新穂高温泉登山者駐車場4:46～白出沢登山口6:43～重太郎橋8:07～ 荷継沢9:50～雪渓上端11:00～穂高岳山荘幕営地13:05
8月7日(日)	曇後午後雷雨	穂高岳山荘幕営地4:15～奥穂高岳4:55～ジャンダルム6:25～ 天狗の科尔7:41～西穂高岳10:08～西穂山荘12:10～ロープウェイ駅

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

8ヶ月間のドクターストップと自粛期間を終え、山行を再開した。
5月の常念岳、7月の針ノ木岳では、まだリハビリ登山という感が強く、夏山に向けて、体力と気力を試す意味もあった。また奥穂西穂間は、3度目の挑戦で、生半可な気持ちでは挑めなかった。

1日目 新穂高温泉登山者駐車場から、白出沢を詰めて白出の科尔を目指した。
無料駐車場は混んでいて止められないとの事前情報もあり、ETC割引率の高い0時過ぎの松本IC通過を狙っていると思われるほかの人の前に駐車場に入るべく、平日深夜割引を利用して、0時半に駐車場に入る。無料駐車場に車を止められた。
白出沢登山口から1時間位歩くと雨になり、合羽を着る登山道は良く整備されている。初めは白出沢左岸側の樹林帯の中を徐々に高度を上げる。
沢に下りると、重太郎橋を渡り右岸の斜面の岩切道に取り付く26名の先行グループに追いつく。単独行のひとりと私は、そのパーティーの後に続いて岩切道に行く。
途中、鉱石沢で2L給水。しばらく歩くと荷継小屋跡の有る荷継沢を渡る。水は無い。
ここから科尔まで一直線に急登が続く。雨とガスが無ければ、遠くに小屋が見えるはずだ。ガレた岩が続くが、なんとなく道になっている。ここで私は、登山道をくねくねと行く団体を道を見捨て直登し、団体を抜いて科尔に着いた。雨はまだ土砂降りに近い状態の中テントを設営し中に入る。天気図をとり、夕方には雨もやみ青空が出てきた。
テントは15張り位であった。

2日目 昨夜の天気予報は、天気は午前中しか持たないということなので、4時過ぎに出発する。奥穂の山頂は、20名くらいの人であった。下山後に、落石滑落事故で2名死亡を知る。まだ天気は良く、ゴール地点まではっきり見える。先行者は2名1パーティーだ。
奥穂からいきなり馬の背のやせ尾根で、緊張。馬の背を降りるルートが直進できず、槍平側をトラバースする。このルートで一番緊張した所だ。
ジャンダルムは、西穂側に巻いて登るのが一般的ということで私もそうした。
奥穂側からも登れるという事で、観察してみた。次回はこちらから挑戦してみたい。
ジャンに登ると先行者2名は朝飯の弁当を食べていた。ここで食べたなら美味だろう。
恒例のジャンの看板を持ち、写真を撮ってもらう。天使の看板は思ったより小さかった。
白出沢で追い越して行った単独行者は、偶然テント場でも隣同士だった。今朝は私が先に出ていたが、ジャンで追いついてきた。西穂に向かうパーティーは先行者の2名、単独行者が私を含め2名、続いて2名のパーティーが、続いていた。
天狗の科尔で休憩。岳沢ヒュッテの屋根が見える。天狗岩への登りは垂直な壁で、鎖を使わないと登れなかった。天気もだんだんと悪くなってきていて、槍も雲の中に入り、西穂も見えたり、見えなかったり。独標には西穂山荘からの登山者であふれていたのが通過した。この辺から雨が降り始めた。西穂山荘で休んだ後、ロープウェイ駅までは土砂降りと雷雨。ロープウェイも落雷で止まっていて、少し待たされた。
このルートは一応マークも有るがわかりづらいところも多かった。ルートファインディング必要がある。でも、西穂から南は、ペンキマークもこれでもかというほど多く、見落とす心配は無かった。鎖も要所には設置されていたが、足がかり手がかりも多く、使う必要の無い所も多かった。エスケールルートが天狗の科尔から、岳沢に降りるしかなく、天候読みが必要だ。
岩が濡れていたら、いきたくないルートだ。

同じルートでテントも隣同士だった人が、ヤマレコに今回の山行をアップしている。
ヤマレコHP「再挑戦実る! 新穂高温泉から奥穂・ジャンダルム・西穂縦走」投稿者名Nishiden

報告者	柴田	受付	年 月 日	受付者
-----	----	----	-------	-----



白出大滝



岩切道



雪溪



ガレた岩場
小屋か？



馬の背



馬の背の
下り



ジャンダルム



やっと着く